

Zaitoune Meknèssa

Meknès of the Olives

モロッコでの活動レポート



活動先に追加したシディブズクリセンター（２０２３年１０月）

Début des cours de la nouvelle année

ー活動について Vol.5

----- 新年度コースの始まり

10月から新年度の新しいコースが始まりました。同時にメクネス市内のITコースのある他のセンターを視察訪問、巡回しました。各センターはそれぞれ異なるアソシアションによって運営されているため、規模や雰囲気など全く異なります。しかし、そこには学習意欲を持った生徒たちが集まっており、その姿に多くの刺激を受けました。規模の小さいセンターでも一人1台で定員に達するとコースを増設する運営が既にできているセンターもありました。また女性講師の指導には特に驚かされました。モロッコでは学習の場でも言語の問題があります。彼女たちはフランス語を教えるようにITを教えていました。

そのため、フランス語の理解が乏しい私でも理解できる光景に驚いたのです。また、きめ細やかな指導を行うことができるのも女性講師のスキルだと感じました。そして、とても悩ましかったのですが、様々な点を考慮し、Sidi Bouzekriセンターを活動先として追加しました。一方で、当初から配属されていたセンターのカリキュラムや指導の問題点にも気付くきっかけにもなりました。私はここでの習得技術はこの程度でいいのかなと認識してしまうところでした。そしてすぐに、昨年度の卒業試験の各センターの成績や平均点の開示依頼をしました。

Tape rapid et Tatch typing

ー活動について Vol.6

----- タイピングの練習の強化

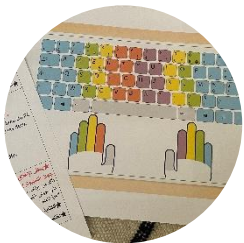
昨年度の卒業生や街で働く人々が人差し指だけでキーボード入力を行う様子をよく見かけていました。つまりパソコン仕事がとても遅いのです。



今年度のコースが始まった当初、自宅にPC

を持たない生徒は、早く教室にあるPCに触れたくて仕方がない様子でした。当時の授業は、基礎知識の座学ばかりで退屈している様子も見取れ、授業開始までの待ち時間に、ただ文章を入力するだけの練習を与えました。指をすべて使い、早く入力するようお願い続け、意識させ続けました。一生懸命取り組んでいても、日本人の私に2本指はダメと指摘されるのは嫌そうでした。しかし、現在WordやExcelの授業が始まり、彼らの入力スピードが

確実に速くなり、授業の進行にも良い影響をもたらし、彼らの学習意欲が向上している様子にやってよかったと確信しています。また生徒にも私の思いは届いており、安堵しています。また少しでも日本に興味を持ち、知ってほしいだったので、タイピングに使用する文書は日本文化について、フランス語で書かれた文章を使用しました。



サラーム アレイコン
Salam alikom !

みなさま、こんにちは！
お元気でお過ごしでしょうか？
中川可奈子と申します。

----- JICA 海外協力隊

香川県善通寺市育ち、東京のIT通信企業を退職。現在モロッコで6番目に大きな都市「Meknès」で、「PCインストラクター」として活動しています。



【要請内容】

派遣国：モロッコ

任地：メクネス

職種：PCインストラクター

配属先：国民共済事業団メクネス支局及び市内の職業訓練センター

要請内容：モロッコは堅調な経済成長を続ける一方で、都市部と地方部の社会的・経済的な格差、とりわけ地方での若年層の高い失業率といった課題を抱えています。このような就労機会の差を是正するべく、各種職業訓練コースを提供し、知識・技術の習得を促す事業が進められてきました。しかし、個々の就学レベルのばらつき、経済的理由などにより訓練途中でドロップアウトしてしまうという課題もあり、ITコースの充実化のため、様々な改善や就職率の向上を目指した支援が求められています。



リアド ジトゥーン センターで行われた中間試験（2023年12月28日）

Réunion de rapport —活動について Vol.7

----- 1 年目の中間報告会

モロッコに来て1年が経ち、1年目の中間報告会がありました。6か月目に実施した行動計画を基にどのような事を実行したか、進捗の報告を行います。また活動をしながら理解が深まり、問題点も多く見えてきたので、それらについて伝えたり、既にどのような事を行い、どのような効果や成果が表れているかなど、意見交換を実施しました。

一方で、活動の中で期待されていたメクネス支局スタッフへのITスキル向上やデジタル化などについては、視察したセンターにITに長けたディレクターがいたので、その方が適任ではないかとリファーしました。私自身がなんでも引き受けてしてしまうのではなく、現地の人を巻き込んだり、現地の

人たちで考えてもらったり、やってもらうことも大事だと感じました。また、できないことはできないと示すことも大事だと思います。私はITに理解がありデジタル化を推進する権限のある人がここに来ないと、時間と労力だけを消費し、結局やり直すと言う非効率や無駄があることを強く指摘しました。同時に、私は、各センターの生徒の学びたい意欲や姿勢に向き合うことを優先したいことも伝えました。

後日、支局に行ってみると、その他センターのディレクターが何か作業をしていたので、今後の動きを見守り、私の任期中に再び向き合えるきっかけが訪れる日を期待しています。

モロ ッ コ 料理 の 紹 介 Introduction de la cuisine marocaine Vol.3

----- タ ジ ン Tajine

モロ ッ コ 料理 と 言 え ば タ ジ ン。

本当に様々な種類があり、それぞれに異なるスパイスの組み合わせがあります。何より、美味しくて健康的な料理です。野菜のみのタジンもあれば、鶏肉や牛肉、ラム肉、そして海沿いの街では、シーフードのタジンもあります。新しいタジンに出会うと、家でマネをして作ってみます。少し良いレストランでは、ラム肉とプルーンの甘味が加わる伝統的なタジンをいただきます。

また、ケフタと言って挽肉をボール状にしたものとトマトピューレのタジンや、同じようにイワシのすり身ボールのタジンも美味しいです。調理する人によっても、スパイスの配合や野菜の切り方が異なり、蓋を開ける瞬間がいつも楽しみな料理です。



メ ク ネ ス

Promenade dans la ville de "Meknès"

私の任地 “メクネス” の街歩き —Vol.3

----- ジ ト ウ ー ン メ ク ネ ッ サ ZAITOUNE MEKNËSSA

モロ ッ コ 料理 として紹介されるには至らない、街中で見かけるグリルチキン。チキンを丸ごと大きな串に刺し、回転させながらじっくりグリルします。店ごとに味付けが違い、いつも私は地元の人であふれる



小さなレストランで4分の1サイズにカットしたモモの部位を指定して持ち帰りをしています。美味しさの秘訣は肝を取り除いていないことだと思っています。

また下には米が置かれており、グリルしながら滴るチキンのうまみと脂を吸った米料理と一緒に添えられます。一つは日本の高菜ご飯に似た味付けで、ピリッと辛さがあり、日本をなつかしく思う時があります。

メクネスの街を歩いていると、本当にたくさんのファストフード店があります。ただ、どこもメニューは変わり映えのない、若者による流行りのビジネスの様です。そんなファストフードの中にモロッコでオリジナルに進化したタコスがあります。たまに食べるのですが、美味しいと思う一方でどうしてフライドポテトの中に包み、



さらに添えるのか理解が出来ず、もやっとなります。彼らが言うには、ファストフードにはフライドポテトとコーラがセットだと言うイメージからこうなっただけです。せめて日本のポテサラなど違うものを入れてほしいものです。また、グラタンの様なパティスコと言う料理にもフライドポテトが入っており、私をもやっとなさせます。ここではフライドポテトはじゃがいもで、野菜なので健康的と考えるようです。たまにタジンにも入っていることもあり、それはモロッコの伝統料理に対する冒とくなのではないかと怒りすら感じる日本人の私です。





サフィ アスフィ
念願のSafi/Asfiのタジンポットのモニュメント(2024年1月)

Mon petit voyage 任国内旅行— Vol.2

SAFI/ASFI

以前モロッコに旅行で訪れた際、断念した SAFI の大きなタジンポットのモニュメント。遂に見に行くことができました。タジンポットを始め、モロッコには地域ごとに美しく可愛い陶器がたくさんあります。この SAFI にはモロッコで有名な三大陶器市の一つがあります。また陶器美術館もあり、モロッコ中の陶器の歴史を知ることができます。そんな美術館内の床には



隆起した箇所がありました。被害は大きくなかったものの街にある歴史ある建造物には昨年9月に発生した地震の傷跡が多く残っていました。高台からメディナ側へ崩落した壁はそのまま、立ち入り禁止の城壁にも大きな亀裂がありました。

パンデミックもあり、街の人は観光客が来ないと嘆いていました。ですが、このタジンポットのモニュメント見たさに訪れてみると、いろんな発見がある町でした。

海沿いの街ならではの魚介料理を楽しみ、向こうが見えない大西洋の夕陽を眺め、この向こうにはアメリカがある不思議な感じ。メディナには、ポルトガルやスペインの歴史が今もたくさん残っていました。SAFI の人々は自分たちのことをAsfiと呼んでいました。また陽気で明るく親切な人々に、どこか



私の任地メクネスの人々に似た安心感と人懐っこさを感じました。

今のところ任地Meknèsの次に大好きな街です。

Mon petit voyage 任国内旅行— Vol.3

エル ジャディダ EL JADIDA

カサブランカから電車で1時間。海沿いの街 El Jadida。私の任地 Meknes と比べると少しこじんまりとした都市の印象。この街にもポルトガルの歴史があり、城壁に囲まれたメディナの中にあるRiadに宿泊しました。モロッコ旅行と言えばリアドに宿泊！可愛い家具や装飾はモロッカンで、朝食もたくさん出していただきました。



ちょうどオレンジやミカンが出回り始める時期で、シナモンと砂糖がかけられたオレンジが旅の疲れを癒すような美味しさでした。



散歩がてらリアドのあるメディナを囲む城壁を一周しました。このメディナは海に面しており、海風が心地よく気持ちよかったです。また、すぐ近くにはビーチがあり、たくさんの子供たちがサッカーをして遊んで



いる光景も微笑しかったです。

夕食にはせっかく海沿いの街に来たからと魚介料理を頂きました。色違いのムール貝がたくさん入ったオリーブオイルとガーリックのグリルです。ホブスや魚介のスープと一緒にいただきました。また、ここで活躍するボランティア隊員とも会うことができ、お互いの全く異なる活動などについて話して、夕食を共にしました。



最後の一枚は、メディナの入り口に佇むモロッコ人のおじさんがいい雰囲気醸し出していました。



◇番外編◇ 旅の便利グッズ & 持ってきて良かったものの紹介

①スーツケース (LOJEL Cubo Fit)



通常のスーツケースは、両開きで開閉の際、狭いホテルでは場所を取り、移動させる際も一度閉じる必要があります。これは蓋付き BOX の様に使用できるため、お気に入りです。また機内持ち込み用サイズのスーツケースが中に入る大きさのため、収納にも便利です。



②折り畳みバケツ

ホテルでの洗濯はもちろんのこと、ホテルで使用するごちゃごちゃするものを取りあえず放り込んでおくのに便利です。外出時はそのままスーツケースやクローゼットに突っ込んで鍵をして外出できます。自宅では足湯に使用しています。繰り返し折り畳むので角が破れないか心配でしたが、かなり丈夫です。



③湯たんぽ

自宅でも旅先でも寒い冬の必需品です。実は暑い夏には水を入れて、水枕にしていました。発熱時にも使えそうですね。

④シリコンの折りたたみケトル

モロッコでは、ケトルが部屋にないホテルやRiadも多いので、重宝しています。暖かい飲み物はもちろん湯たんぽにお湯を入れるためにも必需品です。



カップは、スタバのリニューザブルカップを使用しています。残念ながら日本から持ってきた origami シリーズのカップをホテルで捨てられてしまったので、今は任国外旅行で購入してきた大きいサイズを使用しています。軽くて持ちやすく丈夫なので便利です。でもサイズの的には origami シリーズの方が最適でした。

⑤ビーチサンダル(&シャワーキャップ)

ビーチで使用する目的ではなく、ホテルの室内履きやシャワーブースの足元の汚れなどが気になる時に使います。また靴なども同様に使い捨てのシャワーキャップを被せるとバラバラにならずにカバーできます。

⑥ TABITORA 吊り下げ収納バッグ

これは長期滞在の際には便利です。私は、上から下着類、トップス、パジャマ、上部のポケットには生理用品やハンカチを入れるよう定位置を決めています。吊り下げた際、下部にファスナー付きの BOX ができるので、使用済みの衣類などを入れておくことができます。



⑦充電式カイロ (スマホ充電兼用)

モロッコの建物は、日本の建物の様に断熱材などが使用されていません。特に暑い夏のために、タイルとコンクリートでできており、ひんやりします。活動先のセンターやカフェなど暖房器具がない場所も多く、冬は体が冷えて仕方ありません。本当は使い捨てカイロが欲しいところですが、大量に持ってくることはできないので、充電式カイロを握りしめています。私は兼用で、スマホ充電に使用できるタイプを選びました。少し重いのが難点です。

* 通電が確認できる変換プラグ



故障なのかフェイクなのか通電しない、もしくは接触が悪いコンセントがよくあります。そのため通電していると光るタイプのプラグがあると一目瞭然で確認できます。またパソコンなどは繰り返す瞬断で故障することが多いので、一つあるといいと思います。

スキンケア&化粧品

・化粧水 化粧下地 洗顔フォーム

モロッコでは日本の様な化粧水がありません。ほぼ水の様なものやメイク落としを兼ねているものはあります。これらは直接肌に使用するもの、またやっぱり肌には気を遣いたい&洗い心地やつけ心地、香りは意外に気になります。キシキシしたり突っ張ったり、やっぱり日本製品には敵いません。私は化粧下地と洗顔フォーム、日焼け止めなど2年分持ってきたものもありますし、化粧水は任国外旅行で無印良品に行き、買ってきました。

・歯ブラシ3種&歯磨き粉

持って行った方が良いものとして一番よく聞くのは歯ブラシ。こちらの歯ブラシは大型犬用かと思うくらい本当に大きいです！歯ブラシの交換目安は1ヶ月と言われていいます。私は3種類使用しているのでそれぞれ15本ずつくらい持ってきました。

* 服 (着物や浴衣は持参するべき?)

服は言わずもがな大半がユニクロ！着物や浴衣は着用する機会があるのか不明で荷物もかさばるため。断念しました。その代わりに着物風の羽織りワンピースを持ってきました。襟元が着物の様にデザインされており、胸元には牡丹などの日本の花があしらわれています。日本文化のイベントや日本を感じていたいときに着用しています。これは、持ってきて良かったモノの一つです。



* 折り畳みソーラーランタン



私はモロッコの環境が比較的整っていることを知っていたので持ってきましたでしたが、停電が頻繁にある国では重宝しているようです。いざと言う時の一瞬はスマホのライトで何とかかなると思いますが、いつなにか起きるかは分かりません。